

～参加申込み案内～

テーマ：地方創生と人材育成 — 地方における雇用創出を考える —

＜大会テーマの趣旨＞

今日の安倍内閣の経済・社会政策の柱の一つとして「地方創生」が掲げられている。内閣府のパンフレットには、その背景として「2008年に始まった人口減少は、今後加速的に進む」。そして「人口減少による消費・経済力の低下は、日本の経済社会に対して大きな重荷となる」。そこで「人口減少克服と地方創生をあわせて行うことにより、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目指す」という。

その実現のために「まち・ひと・しごと創生本部」が設置された。内閣府のホームページに掲載されている設立趣旨には、「人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し政府一体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生できるよう、まち・ひと・しごと創生本部を設置しました」とある。そして、2015～2019年度の政策目標・施策である総合戦略を公表した。この総合戦略には4つの基本目標があり、その筆頭に掲げられている目標が「地方における安定した雇用を創出する」ことである。

しかしながら、地方の雇用の問題は容易に解決できるものではない。地方における雇用機会の大半は地元中小企業が提供しているが、大都市圏に比べると、とりわけ多くの若者にとって就職したいと思えるような魅力的な雇用機会が少ないと指摘されてきた。その結果、地方から大都市圏への人口流出が加速され、地域の中小企業にとって、優秀な人材を確保することは難しい問題となっている。地方からの人口流出は、ますます地域経済を衰退させることになり、雇用機会が縮小するという悪循環を引き起こしていると考えられている。

こうした地方の悪循環を断ち切って雇用を創出するためには、誰が何をどうすべきなのであろうか。そもそも地方における雇用の問題は、地域企業などの「雇用する側」と人材である「雇用される側」および両者をマッチングさせるための制度や仕組みを「支援する側」という三つ巴のプレイヤーの問題でもある。

そこで、本大会におけるシンポジウムでは、それぞれの視点から地方の雇用創出に関する問題や課題を掘り下げて、様々な解決策を見出すことにしたい。

主催：人材育成学会

共催：東北大学大学院経済学研究科 地域イノベーション研究センター

開催日：2016年12月3日（土）

第14回年次大会は、本年12月3日（土）、東北大学の川内南キャンパスにおいて開催いたします。『地方創生と人材育成－地方における雇用創出を考える－』をテーマとしたパネルディスカッション、また、12セッション45件の研究発表・事例発表が行われます。参加のお申込みは、下記の要項をご覧の上、期限内にお手続きくださいますよう、お願いいたします（当日参加も歓迎しますので、受付にお越しく下さい）。多数の方々のご参加を、心よりお待ちしております。

会場：東北大学 川内南キャンパス 文科系総合講義棟

所在地：宮城県仙台市青葉区川内27-1

案内図：<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/kawauchi/areac.html>

最寄り駅：仙台市営地下鉄東西線「川内駅」より徒歩3分

アクセス：

東京方面から（東北・北海道新幹線、仙台市営地下鉄利用）：

JR東京駅＝（乗車95-120分）⇒JR仙台駅＝（徒歩3分）＝地下鉄仙台駅＝（乗車6分）⇒川内駅

*往路の一例：東京8:20発⇒仙台9:51着⇒川内10:12着

*復路最終列車：仙台21:47発⇒東京23:44着

大阪方面から（航空機、仙台空港アクセス線、仙台市営地下鉄利用）：

伊丹空港＝（飛行75-80分）⇒仙台空港＝（徒歩3分）＝仙台空港駅＝（乗車25-30分）⇒JR仙台駅＝（徒歩3分）＝地下鉄仙台駅＝（乗車6分）⇒川内駅

*往路の一例：伊丹空港8:00発⇒仙台空港9:10着⇒川内10:12着

*復路最終便：仙台空港19:00発⇒伊丹空港20:25着

実行委員会：委員長 藤本雅彦（東北大学 大学院経済学研究科 教授）

副委員長 高橋 修（東北大学 高度教養教育・学生支援機構 准教授）

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内41

東北大学 高度教養教育・学生支援機構 高橋修研究室内

人材育成学会第14回年次大会実行委員会 事務局

TEL：022-795-3751

E-mail: jahrd2016@econ.tohoku.ac.jp

○参加申込方法と参加費（※発表をされる方も参加申込手続きが必要です。）

同封の郵便振替用紙に必要事項をご記入のうえ、参加費と合わせてお申し込みください。

事前参加受付：2016年11月21日（月）まで

	参加者種別	参加費	懇親会費
事前 申し込み	会員	3,000円（資料代を含む）	3,000円
	非会員	7,000円（資料代を含む）	3,000円
	学部生、大学院生	1,000円（資料代を含む）	3,000円
	学部生、大学院生 （非会員）	4,000円（資料代を含む）	3,000円
当日参加	会員	4,000円（資料代を含む）	3,500円
	非会員	7,000円（資料代を含む）	3,500円
	学部生、大学院生	2,000円（資料代を含む）	3,500円
	学部生、大学院生 （非会員）	4,000円（資料代を含む）	3,500円

注1) この期日までに手続きいただけない方は当日参加扱いとなります。

注2) 当日参加の方は、会場受付で参加申込書にご記入の上、当日参加費をお支払いください。

注3) 論文集代は下記の通りとなります。

- ・ 会 員：論文集を無料で提供させていただきます。本年度会費納入がお済みで、大会に参加されない方々には後日送付させていただきます。
- ・ 非会員：大会参加費に論文集代が含まれています。

○参加申込書（郵便振替用紙）の記入方法

- A. 個人会員の方:同封の郵便振替用紙が申込書を兼ねます。該当の支払項目に○印をつけ、必要事項を記入してください。
- B. 法人会員の方:代表者の方お一人がお申込みの場合は、個人会員に準じます。
代表者以外の方のお申込みは、該当の支払項目に○印をつけ、会員番号の欄に法人会員番号と余白に会員企業名を明記し、ご依頼人欄へ参加者の名前を記入してください。
複数人あわせてのお申込みの場合は、ご依頼人欄にお名前を列記し、合計金額にてお支払ください。余白が足りない場合は、E-mail で法人会員番号・会員企業名、郵便振込日と参加者一覧およびそれぞれの懇親会参加有無をお知らせください。
- C. 非会員の方:次の①～⑥の事項を、E-mail にて年次大会実行委員会事務局までご連絡ください。あわせて郵便局備付の郵便振替用紙（払込取扱票）により、記載事項をご記入の上、参加費をお支払いください。
- ①件名:人材育成学会第14回年次大会参加申込書、②氏名(フリガナ)、③「非会員」の表示、
④所属名(勤務先)、⑤連絡先:郵便番号、住所(自宅・勤務先の明示)、電話番号、E-mail、
⑥懇親会の参加有無
- ❖郵便振替用紙への記載事項(郵便局備え付けの払込取扱票)
- ◎口座記号番号:02200-8-140464
 - ◎加入者名:人材育成学会第14回年次大会実行委員会
 - ◎金額:合計金額
 - ◎通信欄:a)「大会参加費」の表示、b)「非会員」の表示(会員の場合は会員番号)、c)懇親会の参加有無
 - ◎ご依頼人欄:郵便番号/住所/氏名/電話番号

注1) 会員の方でお手元に振替用紙がない方は、上記をご参照いただき、お振込みください。

注2) 期日までに振込手続きをいただきました方は、大会当日、払込用紙の控え(または、お振込みが確認できるもの)を必ずご持参ください。

○宿泊について:各自で手配いただきますよう、お願い申し上げます。

- ・前泊、後泊を予定される方は、早目のご予約をお勧めいたします。

大会プログラム

[受付] 10:00～ 東北大学 川内南キャンパス

文科系総合講義棟 1階エントランス横

会場	第1 小講義室 (211)	第2 小講義室 (212)	第3 小講義室 (213)	経済学部 第2講義室 (204)	法学部 第1講義室 (202)	ミーティン グルーム2 (105)
10:30 ～ 12:00	セッション1 : 大学生の発 達	セッション2 : 大学と社会 との接点	セッション3 : 働き方と人 事制度	セッション4 : 採用・配置	セッション5 : グローバル 人材の育成	セッション6 : 社会システ ムと人材育 成
12:05 ～ 13:15	<p style="text-align: center;">昼食休憩</p> <p>昼食のご用意のない方は、文科系厚生施設内の食堂で昼食をお取りください。 (営業時間は13:30までです)</p> <p style="text-align: center;">【理事会 (*経済学研究科棟1階 第1演習室)】</p>					
13:15 ～ 14:45	シンポジウム (203 経済学部第1講義室)					
14:50 ～ 17:30	セッション7 : 大学教育と キャリア	セッション8 : 人材育成の 効果と課題	セッション9 : 人材育成の 手法	セッション10 : キャリア発 達とその方 法	セッション11 : グローバル 化と地域活 性化	セッション12 : 仕事環境と メンタリテ ィ
17:35 ～ 18:25	総会 (203 経済学部第1講義室)					
18:30 ～ 20:00	懇親会 (128 コモンスペース)					

*理事会のみ、経済学研究科棟となります。

[シンポジウム] 13:15～14:45 (203 経済学部第1講義室)

テーマ：地方創生と人材育成 ―地方における雇用創出を考える―

プログラム：13:15～13:20 シンポジウム挨拶と趣旨説明 (大会実行委員長：藤本 雅彦)
13:20～14:00 登壇者による話題提供：@10分×4名
14:00～14:45 登壇者によるパネル討議

登壇者：労働政策研究・研修機構研究員 高見 具広氏
東北経済産業局産業支援課長 産業人材政策室長 遠藤 憲子氏
山形大学キャリアサポートセンター准教授 松坂 暢浩氏
(株)アフターリクルーティング代表取締役社長 池谷 昌之氏

コーディネータ：大会実行委員長 藤本 雅彦

発表プログラム

<凡例>

発表区分：研究発表または事例発表

※発表区分は、発表者の申請に基づいています。

※事例発表は、本学会の特徴を具現化するものとして毎年設けています。

人材育成に関する企業やコンサルティングを通して、効果的だった事例、先進的な事例、あるいは特徴のある事例を紹介・報告するものです。

発表形式：単独発表または共同発表

☆は、共同発表における発表代表者です。

セッション1：大学生の発達 座長：角山 剛（東京未来大学）			10：30～12：00 （第1小講義室）
10：30～11：00	研究	大学生の発達成長に関する探索 ～批判的思考力、アイデンティティの変化の縦断的分析～	☆二村 英幸 （文教大学） 益田 勉 （文教大学）
11：00～11：30	研究	大学生のジェネリックスキルと成績や就職との関連に関する実証的研究	亀野 淳 （北海道大学）
11：30～12：00	研究	大学生のアルバイト経験が職業能力とジェネリックスキルに与える影響	石山 恒貴 （法政大学大学院）

セッション2：大学と社会との接点 座長：櫻木 晃裕（宮城大学）			10：30～12：00 （第2小講義室）
10：30～11：00	事例	大学と地域との連携による地方創成推進事業と人材育成 ～静岡大学の取り組み事例～	大八木 智一 （静岡大学）
11：00～11：30	事例	地域活性化に取り組む社会的企業の役割に関する一考察 ー津和野・岐阜のインターンシップ事例比較を通してー	遠藤 雅子 （東海学院大学）
11：30～12：00	研究	大学は何を目指して何を教え、企業は入社後に何を教えているのか ～近年の教育変遷と考察	☆稲垣 久美子 （明治大学） 金澤 元紀 （ビズリーチ HR 研究所）

セッション3：働き方と人事制度 座長：宮下 清（大分大学）			10：30～11：30 （第3小講義室）
10：30～11：00	研究	介護と仕事、両立の困難性の研究 ー「多様な正社員」制度構築のためのナラティブ分析	谷 俊子 （東海大学）
11：00～11：30	研究	実験計画法を用いた人事施策の検討	川崎 昌 （目白大学大学院経営学研究科博士後期課程）

セッション4：採用・配置 座長：高橋 潔（神戸大学大学院）		10：30～11：30 （経済学部第2講義室）	
10：30～11：00	研究	就業レディネスを高めるためのフォローに関する考察 —就職活動生約1000名を対象とした調査から—	☆渡辺 かおり （株式会社リクルートキャリア） 飯塚 彩 （株式会社リクルートキャリア）
11：00～11：30	事例	「定着率」と「生産性」の向上を促進する科学的な配属相性マッチングによる新入社員の環境適応促進	☆進藤 竜也 （株式会社セプテーニ・ホールディングス） 上野 勇 （株式会社セプテーニ・ホールディングス） 赤澤 祥貴 （株式会社セプテーニ・ホールディングス）

セッション5：グローバル人材の育成 座長：野宮 大志郎（中央大学）		10：30～11：30 （法学部第1講義室）	
10：30～11：00	研究	企業におけるグローバル人材育成の実態と育成の方向性 ～NTTラーニングシステムズ社の調査を踏まえて～	小出 琢磨 （中国学園大学）
11：00～11：30	研究	海外勤務者の形態と意識調査研究（タイの事例研究）	小泉 京美 （相模女子大学）

セッション6：社会システムと人材育成 座長：永野 仁（明治大学）		10：30～12：00 （ミーティングルーム2）	
10：30～11：00	研究	高度技術者育成に向けた社会人学生の研究方向性 —日本型技術社会と社会人博士課程学生—	長谷川 克也 （宇宙航空研究開発機構）
11：00～11：30	研究	大学卒業者の就業の現状と意識に関する一考察 —宮城県内に所在する大学の卒業生へのアンケート調査を踏まえて—	☆高橋 修 （東北大学） 渡辺 一馬（一般社団法人ワカツク）
11：30～12：00	事例	日本の組織におけるミドルマネージャーの抱える課題の歴史的変化と対応に関する一考察 ～LDノート50年のケーススタディテーマの変遷から～	原口 佳典 （株式会社キャリアクリエイツ）

セッション7：大学教育とキャリア 座長：二村 英幸（文教大学）			14：50～17：30 （第1小講義室）
14：50～15：20	事例	キャリア育成の理論研究と教育での実践	☆大石 雅也 （北海学園大学） 近藤 弘毅 （北海学園大学）
15：20～15：50	研究	エンプロイアビリティとキャリア意識との関係ー大学1年生のPBL型授業からー	小川 悦史 （大阪経済大学）
15：50～16：00 休憩			
16：00～16：30	研究	「自己表現・評価トレーニング」の可能性の研究ーアクティブ・ラーニングに活用できる有効性の検証ー	☆米田 敬子 （文教大学） 高橋 真義 （桜美林大学大学院）
16：30～17：00	研究	大学生の短期海外留学を通じたグローバルマインドセットの育成	小西 由樹子 （早稲田大学）
17：00～17：30	研究	選択問題の解法を用いた知識習得に関する個人特性の定量的検討	☆跡見 友章 （帝京科学大学） 田中 和哉 （帝京科学大学） 佐野 徳雄 （帝京科学大学） 長谷川 克也 （宇宙航空研究開発機構）

セッション8：人材育成の効果と課題 座長：城戸 康彰（産業能率大学）			14：50～17：30 （第2小講義室）
14：50～15：20	研究	新規就農研修における指導・育成の現状と課題ー北海道内の農業指導者調査結果からー	田崎 悦子 （苫小牧駒澤大学）
15：20～15：50	研究	上場企業に勤務している課長の自己啓発の実態と有用性	☆佐藤 雄一郎 （学校法人産業能率大学） 松田 雄偉 （学校法人産業能率大学）
15：50～16：00 休憩			
16：00～16：30	研究	保育所における人材育成に関するマネジメントの課題	☆井上 真理子 （洗足こども短期大学） 坂田 哲人 （帝京大学） 今井 豊彦 （日本保育協会）
16：30～17：00	研究	高齢者雇用を促進する職場の組織マネジメントの検討ー中津川市の事例	岸田 泰則 （法政大学大学院政策創造研究科博士後期課程）
17：00～17：30	研究	市町村における国内移住促進と人材育成・就労支援の取組	塚崎 裕子 （大正大学）

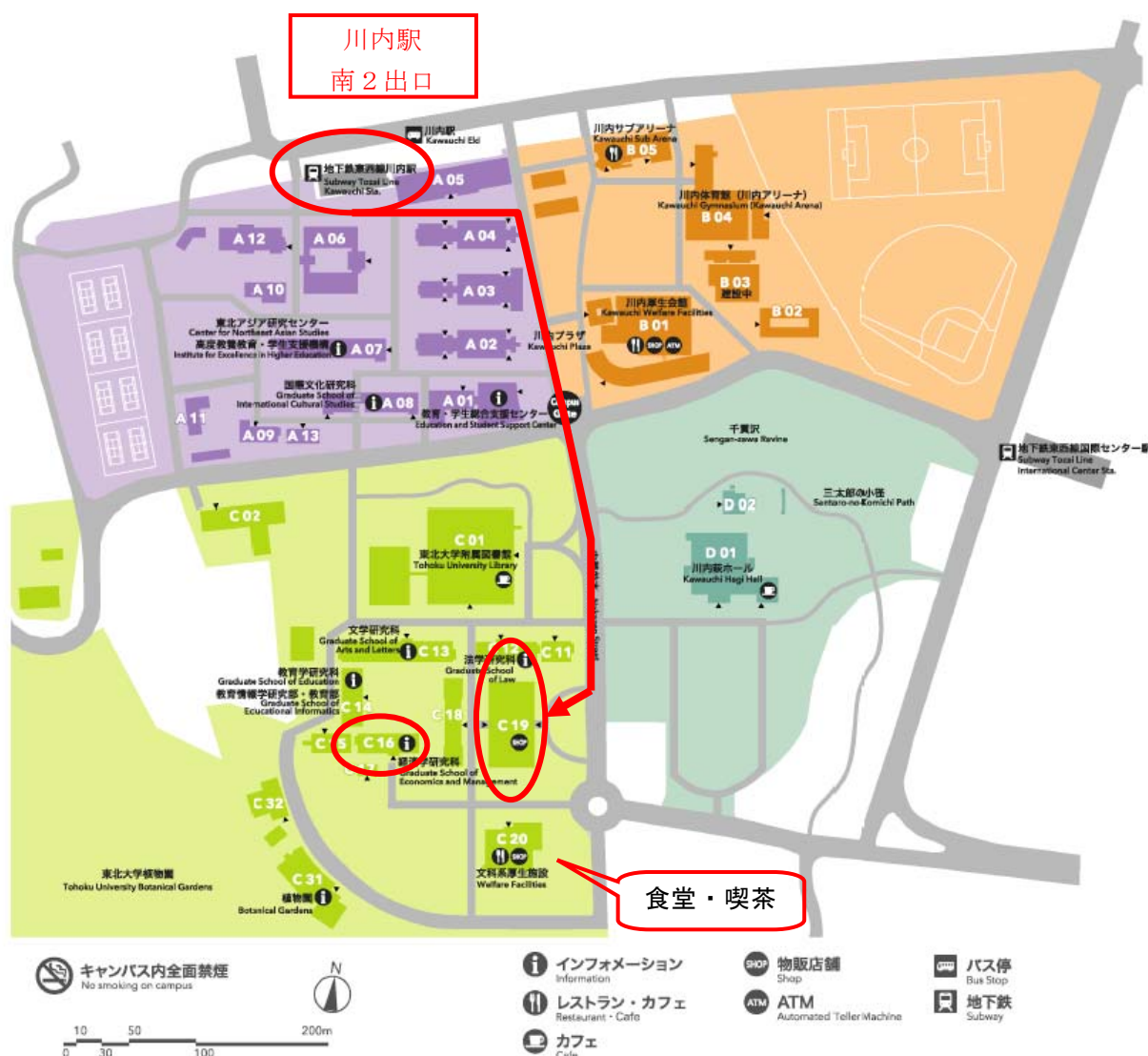
セッション9：人材育成の手法 座長：亀野 淳（北海道大学）			14：50～17：30 (第3小講義室)
14：50～15：20	研究	OJT学習モデルを活用した試行教育訓練プログラムに関する検討－チェック業務における完成期段階の教育訓練プログラムの試案－	内田 恵理子 (西日本工業大学)
15：20～15：50	事例	寄附講座運営をつうじた人材育成～総合物流企業の事例	関 千里 (愛知学院大学)
15：50～16：00 休憩			
16：00～16：30	研究	大学設置基準によるSD（スタッフ・ディベロップメント）の義務化を踏まえ人材育成の観点から考察する－事務職員・教員・技術職員に共通し必要となるSDとは何か－	菊地 勇次 (文部科学省)
16：30～17：00	事例	大学職員の能力開発（SD）への「評価者研修」の導入と評価－四国地区教職員能力開発ネットワーク（SPOD）の事例から－	阿部 光伸 (愛媛大学)
17：00～17：30	研究	企業・団体内教育における遠隔教育（通信教育）の有用性の検討	☆末廣 純子 (学校法人産業能率大学) 佐藤 雄一郎 (学校法人産業能率大学)

セッション10：キャリア発達とその方法 座長：花田 光世（慶應義塾大学）			14：50～17：30 (経済学部第2講義室)
14：50～15：20	研究	企業内での公式メンタリングと若手の自己適応感との関係についての探索的研究	仁田 光彦 (株式会社リクルートキャリア)
15：20～15：50	研究	学校組織における有効なCDP構築に向けて－自己効力と学習行動に焦点をあてて－	櫻木 晃裕 (宮城大学)
15：50～16：00 休憩			
16：00～16：30	研究	仕事の時間展望－過去・現在・未来とキャリア展望	☆高橋 潔 (神戸大学大学院) 小西 琴絵 (東海学園大学)
16：30～17：00	事例	キャリア面談における上司の面談スキル向上を目的とした研修に関する考察	☆新目 真紀 (職業能力開発総合大学校) 新谷英子 (カルビー株式会社)
17：00～17：30	事例	伝統文化専門職のキャリア形成－芸舞妓と能楽師－	西尾 久美子 (京都女子大学)

セッション 11：グローバル化と地域活性化 座長：石川 淳（立教大学）			14：50～17：30 (法学部第1講義室)
14：50～15：20	研究	地域ビジネスに活かす経営学の考え方～地方創生につながる経営理念と戦略・組織・人材～	宮下 清 (大分大学)
15：20～15：50	研究	地域活性化リーダーに関する考察	大嶋 淳俊 (いわき明星大学)
15：50～16：00 休憩			
16：00～16：30	事例	地域・国際交流が生み出す持続的な人材育成の試みー理工系大学を事例にー	川口 立喜 (会津大学)
16：30～17：00	研究	人口減少時代における外国人との共生をめぐる若者意識 ー多文化社会構築を前提とした地方創生の可能性に対する考察ー	大重 史朗 (立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科 博士課程後期)
17：00～17：30	研究	外国人労働者の組織社会化戦略とキャリア形成：日系ブラジル人の職場・地域への社会包摂に関する研究	荒川 一彦 (近畿大学)

セッション 12：仕事環境とメンタリティ 座長：石山 恒貴（法政大学大学院）			14：50～17：30 (ミーティングルーム 2)
14：50～15：20	研究	介護福祉従事者のメンタルヘルス不調についての事例研究 ー発生からその後の経過まで-	伴 英美子 (慶應義塾大学大学院)
15：20～15：50	事例	A 大学における人事制度改革の事例 ーメンタルヘルス不調等により病気休職を繰り返す職員への適切な対応を主眼として-	後藤 和也 (国立大学法人東北大学)
15：50～16：00 休憩			
16：00～16：30	研究	企業スポーツによる一体感醸成について	大川 浩和 (元早稲田大学商学研究科ビジネス専攻)
16：30～17：00	研究	ワークモチベーションの変化と変容について：A社 30 代後半社員に対するヒアリング調査からの検討	☆吉澤 康代 (香川大学大学院) 宮地 夕紀子 (慶應義塾大学大学院) 竹内 雅彦 (旭化成株式会社) 小西 徳三 (旭化成株式会社)
17：00～17：30	研究	リーダーシップ・プロセス研究をめぐる研究の概観と整理 ーポスト・リーダー中心の研究動向に注目して-	最上 雄太 (青山学院大学大学院 社会情報学研究科 博士課程後期)

アクセスマップ（地下鉄東西線川内駅～大会会場）



○地下鉄東西線川内駅の「南2出口」を出た後、地図上の矢印に沿って文科系総合講義棟（地図上のC19）までお越しください。徒歩で約3分です。

○文科系総合講義棟（C19）1階のエントランス横で受付を済ませてください。

○メイン会場は文科系総合講義棟（C19）、理事会会場のみ経済学研究科棟（C16）です。

○昼食のご用意のない方は、文科系厚生施設内（C20）の食堂で昼食をお取りください（営業時間は13:30までです）。

***キャンパス内は全面禁煙**となっています。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

会場案内図

〈文科系総合講義棟（C19）〉

1F											
101 教員室1	102 教員室2	103 事務室1	104 ミーティング ルーム1	105 ミーティング ルーム2		106 国際交流スペース				108 共通事務室 給湯室・倉庫	109 共通事務室
116 機械室1			女子 トイレ	113 給湯室	男子 トイレ	情報 スペース	110 大学生協				117 機械室2
119 電気室		120法学部倉庫・ 121ゼミ室倉庫			118 ①	受付					
122 経済ゼミ室	123 法学ゼミ室 1	124 法学ゼミ室 2	125 法学ゼミ室 3	126経済学部学生 相談室・ 127倉庫		EV	休憩所		128 コモンスペース	懇親会	

①身障者用トイレ

2F											
201 法学部第2講義室			202 法学部第1講義室			203 経済学部第1講義室			204 経済学部第2講義室		
						シンポジウム、総会					
女子 トイレ	② 208 小講義 室1倉庫	211 第1小講義室			EV	212 第2小講義室		213 第3小講義室		男子 トイレ	

②身障者用トイレ

○ のついた教室が、各セッション会場です。

〈経済学研究科棟（C16）〉 1F

108 第24演習室	109 第8演習室	110 第9 演習室	111 第10 演習室	112 学生談話室	階段	女子トイレ	EVS	男子トイレ	113 第11 演習室
第7 演習室 107	第6 演習室 106	第5 演習室 105	第4 演習室 104	第3 演習室 103		玄関		第2 演習室 102	理事会

シンポジスト控室